

最も冴えた高齢者福祉の取り組み方

現在、市川市の高齢化率（65歳以上の高齢者が人口に占める割合）は16%です。5年後には20%になり、5人に1人が高齢者になると予測されています。現在、若い人達もいずれ高齢者になりますので、高齢者が幸せに暮らせる市川市はみんなが幸せになれます。では、何か良い高齢者福祉の施策はないでしょうか。

私の望む施策を提案します。それは「養護老人ホームと学童保育・保育園の複合施設の創設」です。高齢者と子供は相性が良いです。理由を4点述べます。①時間の流れ方が似ている。大人社会は忙しく、子どもたちは、日々、早く！と急かされますが、高齢者は子供のペースに合わせる余裕があります。ですので、子供達は自信を持って日々暮らせます。②お互いに必要とする良い関係を築ける。子供は『おばあちゃん、絵本を読んで』等、高齢者を心から必要とします。そして、高齢者にとつても『人のために役に立つ』ということが生きがいになります。③高齢者が元気になる。連れ合いを亡くした喪失感や寂しいという思いも、子供の元気な声が聞こえることで救われると思います。また、子供の前だと、認知症の高齢者もシャンとする！という事例が多くあります。④子供達が高齢者達への理解を深め、差別意識を持たなくなる。この施設の子供達は違いを自然に受け入れる大人に成長します。車イスの高齢者やチャレンジドの人達と触れ合う事で、人見知りをせず、自然な人間関係を構築できます。もちろん、リスク管理や国との調整も含めて、クリアしなければならぬ課題は多いです。でも、それ以上に得るメリットは大きいです。そして、結果として、高齢者うつ病等による自殺撲滅の一因に繋がります。自分が高齢者になった時、孫のような子供達に慕われ、小さな体で全幅の信頼をおかれて抱きつかれたら嬉しいと思います。高齢者が生きる喜びを得られ、子ども達が思いやりを育む…そんな市川市を実現したいです。みなさんで「30年後も楽しく住み続けられる市川市」を思い描き、話し合ってみてください。個々人の想いが集まっていけば、良い社会、街が形成されます。

今日も1日、素敵な日を過ごせますように。気をつけて行ってらっしゃいませ！

平成23年1月20日

増田好秀